

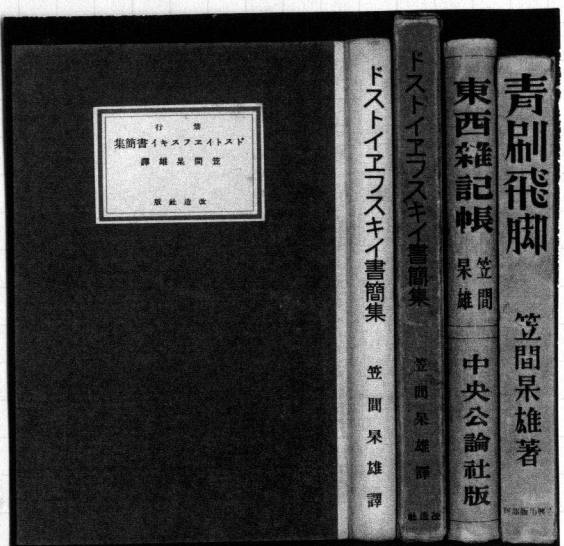
空閑景雄 いそま 外交官、隨筆家。明治十八年十一月一日東京生れ（二八  
 全一）。國學者野中武雄の二男、母方と繼ぐ。第一高等學校を経て、  
 明治四十二年東京帝國大學法科大學卒。後任佛文「國際河川航行論」  
 の（よ）法學博士。鐵道省入省、次ついでに外務省に轉ず。大正九年パリ講和  
 會議以來フランスに滞在して平和條約實施委員として活躍。またポー  
 ル・ケローデルと親交を結び、日佛文化交流に盡力した。その後イタ  
 リア、トルコ、ルーマニア、イランに駐在。昭和七年ポルトガル初代  
 公使、十年エジプト全權公使。文章を能くし、外交官隨筆家中の白眉。  
 並佛文著書もあつた。

譯書 『禁行』 ドストイエフスキイ書簡集』（昭和五年五月十五日改造社）。  
 著書 『シベリヤの古事』（他二名合著、大正十五年八月十五日  
 文叢書）、『沙漠の國』（昭和十年六月二十日岩波書店）、『東西  
 雜記帳』（昭和十一年八月五日中央公論社）、『回教徒』（昭和十四  
 年四月二十日岩波書店）、『岩波新  
 書』（『青刺飛脚』（昭和十六  
 年十月十日））（南  
 方の音楽・舞踊』（他二名合著・  
 太平洋協會編、昭和十七年十月十  
 五日））（『南  
 館』（『弱れ  
 行』）（『英帝國の歴史』  
 （他十名合著）



（他十名合著）

毎日新聞社編、昭和十八年二月十五日毎日新聞  
 社）、『大東亞の回教徒』（昭和十八年二月二十



日本興商會出版部「大正洋圖書館」(年)。